



第95回地区メーデーを開催

第95回花巻北上和賀地区メーデー（実行委員長 高橋信秋 連合花巻北上地協議長）は5月1日（水）14時より、さくらホール feat.ツガワ（大ホール）にて開催し、来賓・組合員等約350名に参加いただきました。



主催者あいさつでは、高橋実行委員長より能登半島地震で被災された方々に対しお見舞いを申し上げ、北上市議会議員選挙については、推薦候補者4人全員が当選した事を報告。

また、春闘について「昨年とは2000年以降で最も高く、全国と同程度の引き上げ率となった。今年の春闘については、昨年の流れを継続出来るかが最も求められおり、連合岩手の集計状況によれば、地場中小の従業員99人以下でも13,045円（5.68%）の大幅な引き上げ率となった。しかし、この数字は組合加入組織の一部でしかなく、全国で引き上げ率5%を超えたのは、おおよそ2割であり、残り8割の労働者は苦しい状況下にある。すべての働く人とその家族が、安心・安全に働き、暮らすことのできる社会をめざし、活動を進めて参ります」とあいさつ。

御来賓を代表して、八重樫北上市長、内記西和賀町長よりご祝辞をいただきました。



プラカードコンクールは、ジャパンセミコンダクター労組、北上市職員労組、キオクシア岩手労組の3組合が持参したプラカードをアピールし、来賓及び実行委員による投票によりキオクシア岩手労組が最優秀賞となりました。

また、能登半島地震の復興支援として取り寄せた石川県産品が当たる抽選会を行いました。

「愛のカンパ」を実施し18,000円が集まりました。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

最後に団結ガンパローを三唱した後、市内をデモ行進し、メーデーの起源や働く人すべての処遇改善等を訴えました。

